

Ⅱ．事業評価個表

| | | | | |
|------------------------|--------------------------|--|--|------------|
| 番号 | 措置名 | 交付金事業の名称 | | |
| | 公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営事業等 | 排水路（中央雨水幹線）整備事業 | | |
| 交付金事業者名又は間接交付金事業者名 | | 茨城県東海村 | | |
| 交付金事業実施場所 | | 東海村村松地内 | | |
| 交付金事業の概要 | | 中央地区２４－３号中央雨水幹線整備工事（110.9m） ・函渠開削工事（ＲＣボックスカルバート布設） | | |
| 総事業費 | 81,788,400 | 交付金充当額 | 81,788,400 | |
| | | うち文部科学省分 | 0 | |
| | | うち経済産業省分 | 81,788,400 | |
| 交付金事業の成果目標 | | 排水路の整備は、東海村第５次総合計画後期基本計画「施策6-2-5 雨水の適正処理を行う」に位置づけられ、雨水の適正な処理のために必要な施設を整備し、良好な環境を整えることを掲げています。台風やゲリラ豪雨が増加する中、本工事により水害等を未然に防止し、中央区画整理地内の調整池下流の浸水被害の解消を図るため整備は必須です。また、本工事の先行により、区画整理区域の面的な基盤整備を可能とすることで事業全体の整備効率を高め、もって村民の福祉向上を図るものです。 | | |
| 交付金事業の成果指標 | | 工事進捗率78％（平成28年度末時点＝72％）を達成します。 | | |
| 交付金事業の成果及び評価 | | ・当村では、公共下水道基本計画に基づき、計画的に既存雨水幹線の改修を行っています。 ・雨水幹線に接続予定（中央区画整理地区内では幹線）の雨水排水管整備工事については、本工事の実施により、長年の懸案であった最上流部の道路冠水を解消することができます。 ・中央雨水幹線整備工事については、平成22年度より工事を進めており、平成27年度から調整池用地下流の整備段階に入りました。本工事の実施により、当区間の工事進捗率は85％となり、雨水の適切な処理及び水害対策に向けた着実な足がかりを築くことができました。なお、雨水排除の効果は全整備が完了することにより発揮するものであるため、平成30年度も引き続き本事業を実施し、雨水の適切な処理と有効活用を図り、水害等への対策を講じてまいります。 ※実施延長（予定）901.64m／実績（平成22年度～29年度）770.86m | | |
| 交付金事業の契約の概要 | | | | |
| | 契約の目的 | 契約の方法 | 契約の相手方 | 契約金額 |
| | 雨水排水路の適切な整備 | 一般競争入札 | 茨城県那珂郡東海村舟石川駅西 3-11-14 オーヌキ・コーワ特定建設工事共同企業体 | 81,788,400 |
| 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 | | | 平成32年度予定 | |

- （備考）
- （１） 事業ごとに作成すること。
 - （２） 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - （３） 交付金事業の成果目標の欄は、電源用施設周辺地域整備法第 1 条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - （４） 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - （５） 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - （６） 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - （７） 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。